

IPERC News Letter

千葉大学大学院看護学研究院附属
専門職連携教育研究センター

2024年度版 (2025.3発行)

IPERC 開設10周年!!

2015年1月に産声を上げたIPERCは、関係学部と医学部附属病院の教職員のご協力のおかげさまをもちまして2025年1月で10周年を迎えました。

教育、実践・社会貢献、研究、組織運営を4つの柱として事業計画を立て、玄鼻IPEの運営と改善、新たなIPEプログラム開発、現職の方向けのIPWベーシック研修・現職の管理職向けIPWマネジメント研修、教員向けのIPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修の主催、保健医療福祉機関からの要請による講師派遣など事業を実施してまいりました。

記念事業として、2025年1月25日(土)に、世界の多職種連携教育のトレンドと展望～ユニバーサルヘルスカバレッジを目指して～と題し、カナダ、英国、カタル、南アフリカ、インド、日本の6か国からシンポジストを招き、Global&Regional IPE +シンポジウムをオンラインで開催いたしました。こうした世界とのネットワークを基盤に、今後もグローバルIPEプログラムへの発展など検討していきたいと思っております。

IPEグローバルシンポジウム

GRIPは2025年1月25日、「世界の多職種連携教育のトレンド」をテーマに国際オンラインシンポジウムを開催しました。世界各国から6名のIPE専門家を招き、オンデマンド動画とパネルディスカッションの2部構成で実施、日本を中心に世界各国より75名が参加しました。

パネルディスカッションでは、Interprofessional Service Learning (ISL) によるユニバーサルヘルスカバレッジへの貢献を議論し、多職種協働の重要性を再確認することができました。今後のトピックとして、IPEの実践事例や各国の特徴的なプログラム、評価方法への関心が示され、次回企画への貴重な示唆が得られました。

GRIP + フォーラム

さらに同年3月9日、「サービスラーニング×IPEが拓く協働の未来」と題して国際フォーラムを千葉大学で開催しました。世界7か国、16名のIPE専門家を招き、対面形式にて課題発表と指定発言、ディスカッションの2部構成で実施しました。

Topics

- ▶ IPERC開設10周年
- ▶ ワールドツアーと国際シンポジウムの開催
- ▶ 国際交流活動の活性化
- ▶ 玄鼻IPE
- ▶ 社会貢献活動

CHIBA UNIVERSITY | GRIP | SUSTAINABLE GOALS

文部科学省大学の世界展開力強化事業

Global & Regional IPE+ シンポジウム
世界の多職種連携教育のトレンドと展望
～ユニバーサルヘルスカバレッジを目指して～
Global Trends of Interprofessional Education - Towards Achieving Universal Health Coverage

Part 1 パネリスト報告・発表
Global IPE trends and their respective challenges
-開催日時: 2025年1月13日(月)祝
-開始方法: GRIP Webサイト掲載の動画をオンデマンド視聴
-言語: 日英字幕あり

Part 2 パネルディスカッション
The Impact of Promoting Interprofessional Service Learning on Universal Health Coverage
-開催日時: 2025年1月25日(土)18時00分(日本時間)開始
-開催方法: ウェビナーでのリアルタイム・オンラインセッション
-言語: 日英同時通訳あり

パネリスト

プロフェッショナル
ズロビト夫
ズロビト夫
ズロビト夫

玄鼻IPEAC
センター長
清井野子教授

レスター大
学
専門職連携教育
プログラムディ
レクター
A.アンダーソン
教授

カールスル
大学
多職種連携教育
プログラムの
ディレクター
A.エル・アフ
イシ博士

ブリスベン大学
健康科学部
教授
C.Y.ファン、
フェレン教授

シンボシス国際大
学
ユニバーサルヘル
スカバレッジ
センター
ディレクター
L.ダニエル教授

IPE(専門職連携教育)が目指すことはユニバーサルヘルスカバレッジです。そのために世界の各地でIPEが推進されています。住民とともにそれぞれの専門職が、ともにお互いにお互いから学び合うの質を向上させていくために、その国やエリアの社会課題に対応するサービスラーニングを含んだIPEが必要となっています。世界のIPEとサービスラーニングについて共有し話し合うシンポジウムにご参加ください。

参加申し込み方法 QRコードよりオンラインにて申し込みください。
どなたでも参加いただけます。事前に参加申し込みの上、各パネリストのオンデマンド動画を視聴いただいた上で、パネルディスカッションにご参加ください。
事前参加申し込みはこちらのデジタルフォーム(QRコード)からあるいは
●URL: <https://forms.gle/UXKDzerBGEpu2qeE6>

定員 500名(先着順)

お問い合わせ先: 千葉大学 GRIP推進室 E-mail: grip-office@chiba-u.jp

▶ IPEを実装する6カ国・6大学を訪問

世界展開力強化事業

シンポジウムの準備のために、GRIP推進室メンバーは、10月15日～11月1日にかけて、各国への出張を実施し、アラバマ大学（アメリカ合衆国）、レスター大学（イギリス）、カタール大学（カタール）、フリーステイト大学（南アフリカ）、ハノイ医科大学（ベトナム）、モナシュ大学（オーストラリア）を訪問しました。



今回の訪問では、各大学との間で、GRIP事業の継続的な発展に向けた協議や、学生交換プログラム、共同研究の可能性について意見交換を行いました。加えて、各大学の教育プログラムや研究施設を視察することで、相互理解を深め、関係性を強化しました。

この訪問は、GRIPプログラムの国際的なネットワークを拡大し、今後の事業展開をより一層推進するための重要な機会となりました。

国際交流活動の活性化

■ BMX

本学、関西大学（代表校）、東北大学の3大学合同事業「Blended Mobility Project (BMX)で生み出す『Society 5.0人材』の育成とそのインフラの創出」が、文部科学省の令和5（2023）年度の「大学の世界展開力強化事業 -米国等との大学間交流形成支援-」の1つとして採択された。IPERCとしては、国際交流大学の拡充を念頭に、当該事業とグローバルIPEの連続性を模索するため、令和6（2024）年9月のシンシナティ大学への学生派遣に下井特任准教授が帯同しました。

■ IPE関連の学生国際交流

7月8日から19日まで、千葉大学看護学部主催の交流プログラムに、台北医学大学（3名）・台湾大学（3名）・香港大学（2名）の留学生が来日しました。滞在中、IPEに関する理解を深めてもらうことを目的として、



▲ フロンティア医工学センター見学中

①亥鼻IPE Step2発表会の見学、②亥鼻IPEの紹介講義、③亥鼻IPE Step3の講義（一部）受講およびワークショップ参加、④留学生による香港・台湾におけるIPE・IPWの現状に関するプレゼンテーションを実施しました。加えて、病院におけるIPWの理解を深めるため、附属病院看護部の協力のもと、病院見学を実施しました。香港からの留学生が特に総合診療部の存在と役割に驚いていました。

さらに、看護学と工学の連携に関する応用研究の学習として、平田慎之介准教授の協力のもとフロンティア医工学センターを見学しました。また、看護学研究院の雨宮歩講師の研究室を訪問し、院生との交流も深めました。

2025年3月10日から14日まで、千葉大学看護学部生1名、大学院生2名を、台湾大学主催の交流プログラムへ派遣しました。最終日のプログラムでは、学生同士の交流を通じてIPE/IPWについて意見交換をすることができました。

また同年3月10～21日の日程で、台北医学大学看護学部の交換留学プログラムに、看護学部生1名、大学院生1名を派遣しました。台湾の看護事情を学ぶとともに、院生向けに同大学林秋芬名誉教授より台湾における看護師と看護補助者の連携に関する特別指導が提供されました。

■ IPERC教員の台湾訪問

2025年3月13～14日、酒井センター長、井出准教授、齋藤助教、下井特任准教授、孫特任講師が台湾大学と台北医学大学を訪問し、IPEプログラムの開発をめぐる、引き続き協議を行いました。

■ 国外に向けたIPERCの取り組みの発信

8月21日、第11回群馬大学IPEトレーニングコース（西太平洋地域を中心とした途上国における多職種連携教育のカリキュラム策定および改善を目的とした教育者向けトレーニングコース）にて、孫特任講師が亥鼻IPEの概要およびIPERCの運営方法について講演を行った。同コースにはフィリピン、ベトナム、インドネシア、タイ、マレーシア、韓国から28名の専門職が参加しました。

■ ガジャマダ大学（インドネシア）が来訪

11月、ガジャマダ大学から大学院生14名と教員5名が千葉大学看護学研究院を訪問しました。IPERCは同訪問プログラムの一環として、インドネシアにおけるIPW推進に向けたワールドカフェを企画・開催しました。参加者は自国のIPWおよびIPEに関する現状、認識を共有し、理想的なIPEのあり方について議論を深めました。

▶ 亥鼻IPE

Step1-4の実施



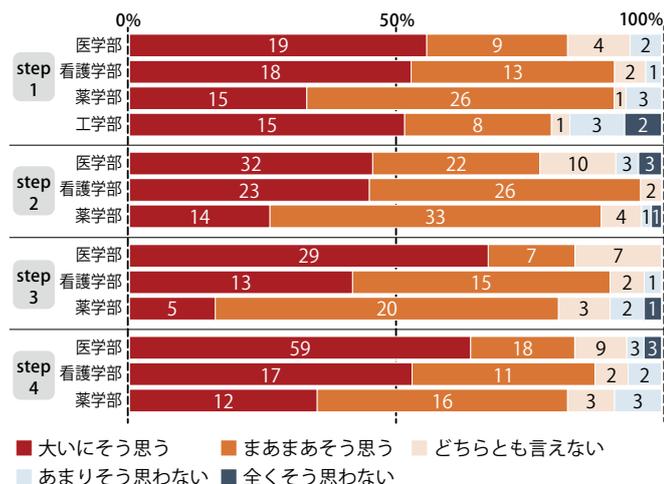
▲ Step1 グループワークの様子

本年度もStep1・2・4は、講義はオンライン、グループワークは対面形式、Step3は全てオンライン形式にて開講しました。

本年度、亥鼻IPEを受講した学生は、総計1122名で、本年度も多くの模擬患者さん、教員・専門職の皆さんに多大なご協力をいただきました。

授業評価アンケートによる学生からの満足度評価では、「そう思う」「ややそう思う」が77.1～96.1%を占めました。Step間で大きな差は認められなかったが、例年通り、医工学での満足度が相

対的に低く、従来以上の工学部向けの取り組みが必要であると考
えます。



■ CIPE (クリニカルIPE、診療参加型IPE) の試行

2024年7月22～26日の日程で附属病院救急科集中治療部、糖尿病代謝内分泌内科、消化器内科、血液内科の4診療科において、診療参加型IPE (CIPE) を開講しました。当該実習には、合計6グループ20名 (医学部5年生6名、看護学部4年生8名、薬学部5年生6名) が参加し、医師6名、看護師6名以上、薬剤師13名が指導に協力しました。2018、2021 - 2024年の5年間にCIPEを履修した137名を対象とした自己評価アンケート結果では、CIPEの学習効果や参加学生の他職種間連携行動は、年度や所属学部の違いに関わらず、おおむね担保されることが明らかとなりました。本研究結果については、第17回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会にて発表しました。

試行事業としてのCIPEは、本年度をもって『臨床実習・臨地実習におけるクリニカルIPE拡充のためのモデル病棟/地域病院構築 (通称「デイリーIPE」)』への発展的終了となりました。

▶ 社会貢献活動

学会での講演・シンポジウム

第17回日本保健医療福祉連携教育学会 (11月10日、埼玉県立大学) のシンポジウム1「専門職連携教育の地域社会への展開～IPEからIPWへ～」において、井出准教授が「諸機関と共に創るIPEの地域展開」というテーマでシンポジストを務めました。

また、シンポジウム2「災害時の生活支援と専門職連携」において、酒井センター長が「大学院教育における災害時専門職連携演習」というテーマでシンポジストを務めました。

第18回全国大学理学療法教育学会大会 (2025年3月29日、茨城県立医療大学) のシンポジウム2「多職種連携教育の進化に向けた実践報告」において、下井特任准教授が「2大学3キャンパスでのIPE経験から考えるIPEのインストラクショナル・デザインとロジスティクス」というテーマでシンポジストを務めました。

■ 亥鼻FDプロジェクト

2025年3月4日 (火)、千葉大学医学教育研究室および総合医療教育研修センターの笠井大先生を講師として迎え、「生成AIを活用した授業設計」として、生成AIの説明や活用例についての講義、ならびに生成AIを使用した演習を開催しました。

■ 動画コンテンツの作成協力

・JVキャンパス動画への協力

「令和5年度 大学の世界展開力強化事業 (補正予算事業) ～ASEAN諸国からの留学生受け入れ・定着促進のためのシステム構築等支援～」の一環として、千葉大学博士課程へのASEAN諸国からの留学生増加を目指し、看護学研究院では、JV-Campusに掲載する「リビング・ヘルスケア」と「地域ヘルスケア」の2科目において、博士前期課程レベルのコンテンツをそれぞれ13回分 (2科目計26回分) 作成することとなりました。IPERCでは、この取り組みにおいて新たに12本の動画教材を作成し、提供しました。

・普遍科目へのコンテンツの提供

千葉大学普遍教育科目の国際発展科目群、国際科目「国際保健とUHC(Universal Health Coverage)」のうち、講義「健康の決定要因」「ヘルスツックの役割と事例」「援助の基盤となる利他」

「専門職連携教育・実践」を下井特任准教授、「社会的決定要因としての社会教育」「文化的謙虚さCultural Humilityに関する社会教育」を孫特任講師が担当しました。地域科目 (基礎)「チームで取り組む地域活動入門」にて、講義「チームとは」「チーム活動とは」を井出准教授が担当しました。

・大学院副専攻プログラム

世界展開力強化事業GRIPにより大学院の副専攻プログラム「大学院国際実践教育」の2年目を迎えた。IPE関連科目3単位「専門職連携基礎」「専門職連携実践1」「専門職連携実践2」を開講しました。関連動画コンテンツの作成をIPERCの教員が協力しました。

その他の講演・研修・コンサルテーション活動

公益財団法人テクノエイド協会が主催する「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」(5月17日、東京都新宿区)にて授業「医学一般 (専門職の役割と連携・協働のあり方)」を下井特任准教授が担当しました。

第34回自治労都区・政令市共闘会議民生部会総会 (6月21日、千葉県千葉市)にて、記念講演「職場のコミュニケーション・スキル」を下井特任准教授、孫特任講師が担当しました。

宮城県看護協会が主催する「高齢者ケア施設で働く看護管理者研修会Ⅱ」(8月21～22日、宮城県仙台市)にて講義・ワークショップ「組織マネジメント」「チーム・マネジメント」を酒井センター長、井出准教授、下井特任准教授、孫特任講師が担当しました。

千葉県看護協会が主催する「第23回認定看護管理者教育課程セカンドレベル」(10月9日、千葉県千葉市)にて教科目「ヘルスケア

システム論Ⅱ」の単元「ヘルスケアサービスにおける多職種連携」を井出准教授、下井特任准教授、孫特任講師が担当しました。

千葉市地域連携室連絡会より依頼を受け、第19回（11月20日）と第20回（2025年2月19日）にて「多職種連携の課題解決方法を学ぼう」（オンライン開催）というテーマの講義並びにワークショップを酒井センター長、井出准教授、下井特任准教授、孫特任講師、齊藤助教が担当しました。

国立病院機構本部が主催する「令和6年度リハビリテーション領域における業務改善の考え方研修」（2025年1月30日、東京都目黒区）にて講義「多職種連携に必要な人材育成」を下井特任准教授が担当しました。

国立障害者リハビリテーションセンターが主催する「令和6年度看護研修会【リハビリテーション看護コース】」（2025年3月22日、オンライン開催）にて、酒井センター長、井出准教授、下井特任准教授、孫特任講師、齊藤助教が担当しました。

■ 附属病院の研修

4月1日、医学部附属病院新人研修を、附属病院の総合医療教育研修センターおよび看護部と協働して実施しました。

8月1日、総合医療教育研修センターの特定行為研修におけるチーム医療演習に協力し、情報伝達スキル、カンファレンスの基本動作、対立の解決の戦略について演習を実施しました。

■ IPERC主催IPE・IPW研修

IPERC主催のIPE・IPW研修は、本年度もオンライン形式にて開催しました。

参加者：

IPWベーシック研修、IPWマネジメント研修 理論編：32名
IPWベーシック研修 実践編：53名
IPWマネジメント研修 実践編：4名

※IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修」は、今年度は申込がなかったため開催を見送りました。

■ 『認知症専門職における多職種協働研修』

千葉県からの委託事業として、2024年12月21日、2025年1月13日の2回、『認知症専門職における多職種協働研修』を対面形式にて開催しました。県内各地から合計126名の現任者の参加がありました。

研究

・論文14本（うち、原著および査読付き論文8本）、学会発表9本、シンポジウム招聘10回。

・研究協力依頼

CICS29（専門職連携実践能力、自己評価尺度）の使用申請を10件許諾した。

事業評価

5名の外部評価委員から【教育】：A（5名）【実践・社会貢献】：A（4名）・B（1名）、【研究】A（1名）・B（4名）、【組織運営】：A（3名）・B（2名）という評価を頂きました。外部評価委員5名から、IPEに関する本取り組みに対して概ね高評価（多くがA評価）をいただいた。教育面では授業の体系化や国際活動の展開が評価され、実践・社会貢献では他機関との連携や研修実施が肯定されました。研究面では現場への展開や地域課題への対応が今後の課題として示されました。組織運営では財源や人材確保への工夫が評価され、持続可能な体制の構築が期待されています。

人員異動

・4月1日付にて辻野拓也特任助手、10月1日付にて齊藤可紗助教が着任しました。

・3月31日付にて、井出成美准教授が退任しました。

『この度、2025年3月末日をもって、千葉大学を退職することとなりました。2016年4月にIPERCの特任教員として着任し、9年間世話になりました。日本のIPEを先導する大学である千葉大学において、大変刺激的な職業生活を送ることができ、関係者の皆様に深く感謝しております。4月以降もIPEを通じて千葉大学の皆様とネットワークを保ちつつ外側からIPERCの更なる発展を応援したいと思っております。本当にありがとうございました。』（井出成美）

令和7（2025）年度 研修のお知らせ

IPEカリキュラムマネジメント&授業開発研修

日程：令和7年11月1日（土）
費用：55,000円（定員10名）
方法：オンライン（Zoom）

IPWマネジメント研修

【理論編】

費用：11,000円 eラーニング（定員 制限なし）

【実践編】

日程：令和7年12月13日（土）
費用：22,000円（定員10名、理論編を受講済みの方対象）
方法：オンライン（Zoom）

IPWベーシック研修

【理論編】

費用：11,000円 eラーニング（定員 制限なし）

【実践編】

日程：令和7年10月 7日（火） 職種間の理解
令和7年10月21日（火） チーム内の効果的なコミュニケーション
令和7年11月 4日（火） チームワークの促進スキル
令和7年11月18日（火） 多職種カンファレンス
令和7年12月 2日（火） 対立の解決
※いずれも17:00 - 20:00



詳しくはHPをご確認の上、お申し込みください。 <https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

[発行] 千葉大学大学院看護学研究院附属 専門職連携教育研究センター

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 <https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

☎ 043-226-2614 ✉ inohana-ipe@office.chiba-u.jp 2025年3月31日 通巻7号